

# 漁海況月報

平成 16 年 7 月 1 日

No. 7

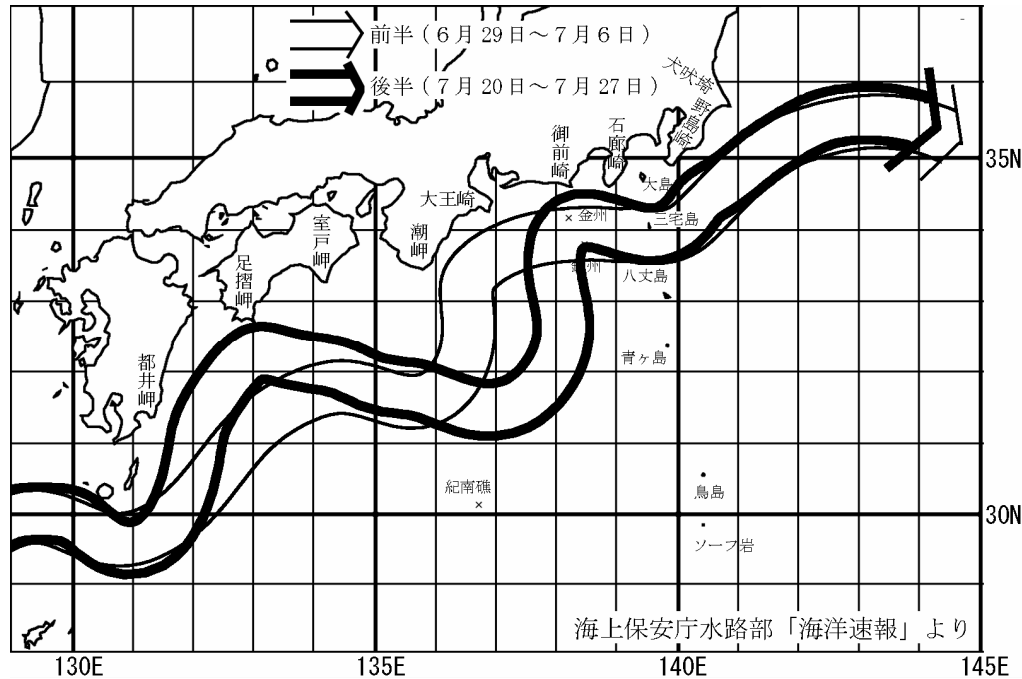
~7月31日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



## [黒潮流路]

黒潮は、中旬まで N 型で、遠州灘に接岸 (34°00 ~34°20 N) して東進、三宅島の北を通り房総半島に接岸して北東に流れたが、下旬は遠州灘に向けて南から流れ込み、34°20 N 付近から東に向きを変え、新島から神津島付近を通過し房総半島に接岸して北東に流れた。

遠州灘へ黒潮が接岸したため、遠州灘沖マリノボでは 7 月 2 日~7 月 19 日に 2~3 ノットの連続した強い東向流を観測した。伊豆諸島北部海域~相模湾は、黒潮の接岸により暖水に覆われたが、大島の東側は湧昇により冷水域となった。駿河湾は暖水で覆われた。

## [県下沿岸域]

定地水温は、相模湾側では 20~26 台、駿河湾東部では 20~27 台、駿河湾西部では 23~26 台で経過した。県下の全ての測点で平年並~高めであった。

## [竿釣近海カツオ]

7 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海カツオの水揚量は 82 トンで前年同期の 55% であった。魚価は 321 円/kg で、前年同期を大きく上回った。

中型竿釣船の記録 (QRY) 及び御前崎市場での調査によれば、7 月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

36°~37°N、151°~152°E と 36°~38°N、144°~148°E で漁場が形成され、小、大、中、チンカツオを漁獲した。

静岡県近海では、主に沿岸竿釣り船が三宅島周辺から銭州にかけて操業し、体長 29~52cm のカツオを漁獲した。また下旬には遠州灘沖で体長 32~50cm のカツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円 / kg)
16 年 7 月上旬	44	18	2.5	369
中 旬	19	8	2.4	307
下 旬	18	5	3.7	222
16 年 7 月計	82	31	2.6	321
15 年 7 月計	149	41	3.6	156
14 年 7 月計	170	21	8.1	227

## [まき網]

小川港では、マイワシは 3.8 トン水揚され、平年同期 (過去 5 か年平均: 282.9 トン) の 1% と低調であった。カタクチイワシは 3.4 トン水揚され、平年同期 (13.8 トン) の 25% と低調であった。

沼津港では、マイワシは 758.8 トン水揚され、平年同期 (397.0 トン) の 1.9 倍と好調であった。カタクチイワシは 13.4 トン水揚された。

静浦港では、マイワシは 205.4 トン水揚され、平年同期 (60.3 トン) の 3.4 倍と好調であった。カタクチイワシは 201.3 トン水揚され、平年同期 (244.0 トン) の 82% と低調であった。

伊東港では、マイワシは 129.4 トン水揚された。カタクチイワシは水揚されなかった。

2004 年 7 月

定地水温の旬平均値 ( )

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	22.8	21.7	21.9	23.8	25.3	23.9	24.0
	0.7	0.4	0.3	1.0	2.5	1.1	1.4
中 旬	23.7	22.8	22.8	24.9	26.1	25.3	24.2
	0.7	1.1	1.0	1.0	2.1	1.5	0.7
下 旬	24.9	24.8	24.6	25.6	25.7	26.1	26.2
	0.6	2.0	1.6	0.6	0.9	1.3	1.3
月平均	23.8	23.1	23.2	24.8	25.7	25.1	24.8
	0.7	1.1	1.0	0.9	1.8	1.3	1.1

**[サバ棒受網]**

小川港に水揚げされたサバ類は前月の水揚げ量(1,012トン)の75%の751トンで、ほとんどがゴマサバであった(マサバ102kg)。漁場は三宅島近海から高瀬に形成され、27~29cmの大きさのものが主に漁獲された。魚体が小さいことから、1kg当たりの平均単価は63円と安かった。

小川港 サバ類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成16年 上旬	290	4	15	19.3	三宅、高瀬
7月 中旬	294	4	15	19.6	三宅、高瀬
下旬	167	3	11	15.2	三宅、高瀬
計	751	11	41	18.3	- - - - -
平成 15年7月	1,867	17	71	26.3	三宅、高瀬、銭洲
平成 14年7月	572	11	49	11.7	三宅、高瀬、三本

**[シラス船曳網]**

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で216kg、遠州灘で191kgだった。主要6港平均では199kgと前年同期(527kg)の38%、平年同期(過去5か年平均:606kg)の33%であった。7月の総水揚量は444.3トンと、前年同期(1,446.7トン)の31%、平年同期(1,606.8トン)の28%に当り、最近20年間で最低の水準であった。平均単価は841円/kgと前月より下回ったものの、平年同期(509円/kg)を大きく上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	33.8	16	229	148	745
舞 阪	122.4	16	733	167	768
福 田	102.9	15	405	254	816
御前崎	42.2	18	208	203	1,067
吉 田	73.8	16	362	204	874
静 岡	69.2	13	299	232	878
平成 16年7月計	444.3	-	2,236	(平均)199	(平均)841
平成 15年7月計	1,446.7	-	2,745	527	534
平成 14年7月計	1,050.4	-	1,871	561	657

**[定置網]**

平成16年7月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は293トンであった。1漁場当たり水揚量36.7トンは、前年20.5トンの1.8倍、平年値(昭和57~平成15年平均値)35.1トンの105%であった。

魚種別にみると、サバ類136トン(前年の46%、平年の1.6倍) マアジ79.3トン(前年の9.7倍、平年の2.8倍) シイラ17.4トン(前年の50%、平年の1.3倍) カタクチイワシ13.7トン(前

年の80%、平年の55%) ウルメイワシ7.5トン(前年の2.9倍、平年の102%)の順に多かった。

サバ類は北川を中心としてゴマサバ主体で入網し、ゴマサバの尾叉長の中心は18~20cm及び31~34cmで、それぞれ2004年級群(0歳魚)及び2002年級群(2歳魚)と考えられた。マアジは谷津及び赤沢を中心に入網し、尾叉長のモードは12~14cmであった。シイラは川奈及び富戸を中心に入網し、尾叉長の範囲は72~124cmであった。カタクチイワシは富戸及び北川を中心に入網し、両漁場を合わせるとカタクチイワシ全漁獲量の94%を占め、被鱗体長のモードは11.0~11.5cmであった。ウルメイワシは川奈及び北川を中心に入網し、被鱗体長のモードは11.0~12.0cm及び14.0~14.5cmであった。

漁場別水揚量は、サバ類の漁獲が多かった北川(72.2トン)、赤石(39.4トン)、マアジ及びサバ類の漁獲が多かった谷津(38.9トン)の順であった。

**[調査船の動向]**

富 士 丸

7月1~31日 東沖ピンナガ調査(31日間)

駿 河 丸

7月1日 波勝崎沖にてマリンロボ調査(1日間)

7月6~7日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘)(2日間)

7月8~9日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査(2日間)

7月12~13日 地先定線観測(駿河湾・伊豆)(2日間)

7月15~16日 三宅島沖にてサバ漁場環境調査(2日間)

7月20~23日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(4日間)

7月26~27日 愛知県境にてトラフグ試験操業(2日)